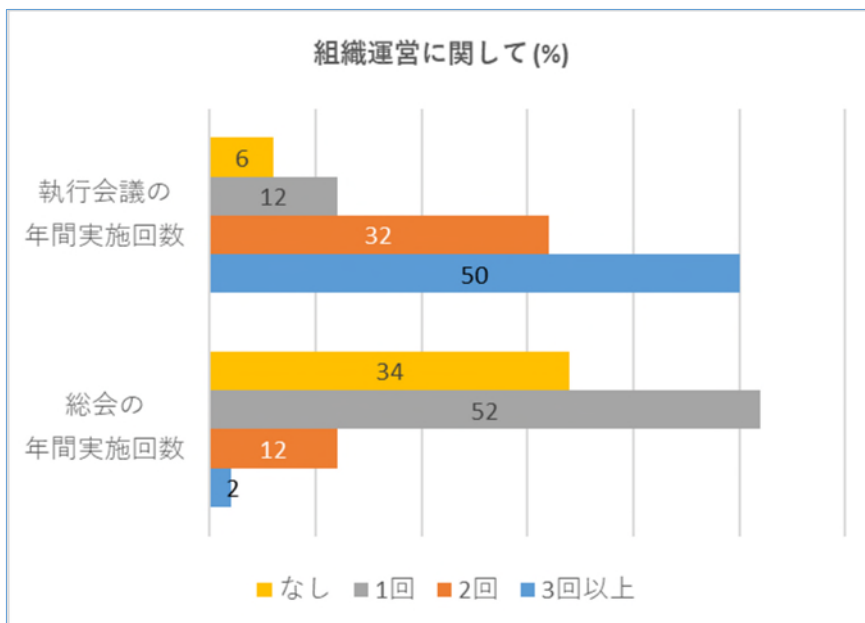


## 1 組織運営に関して

Q：総会：1年間で何回行っていますか

Q：執行会議(役員会や支部長会等)：1年間で何回開催していますか

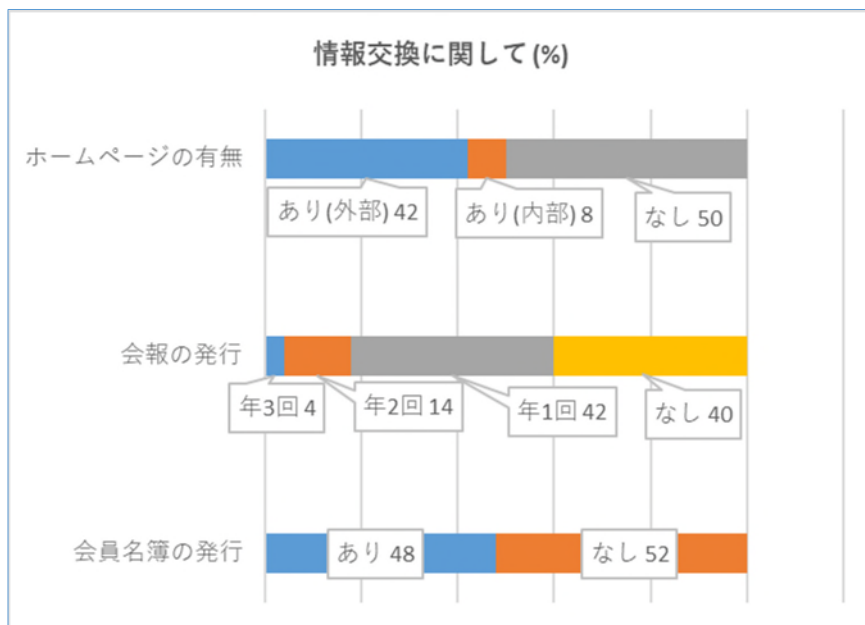


## 2 情報交換に関して

Q：会員名簿：発行していますか

Q：会報：発行していますか

Q：ホームページ：ありますか



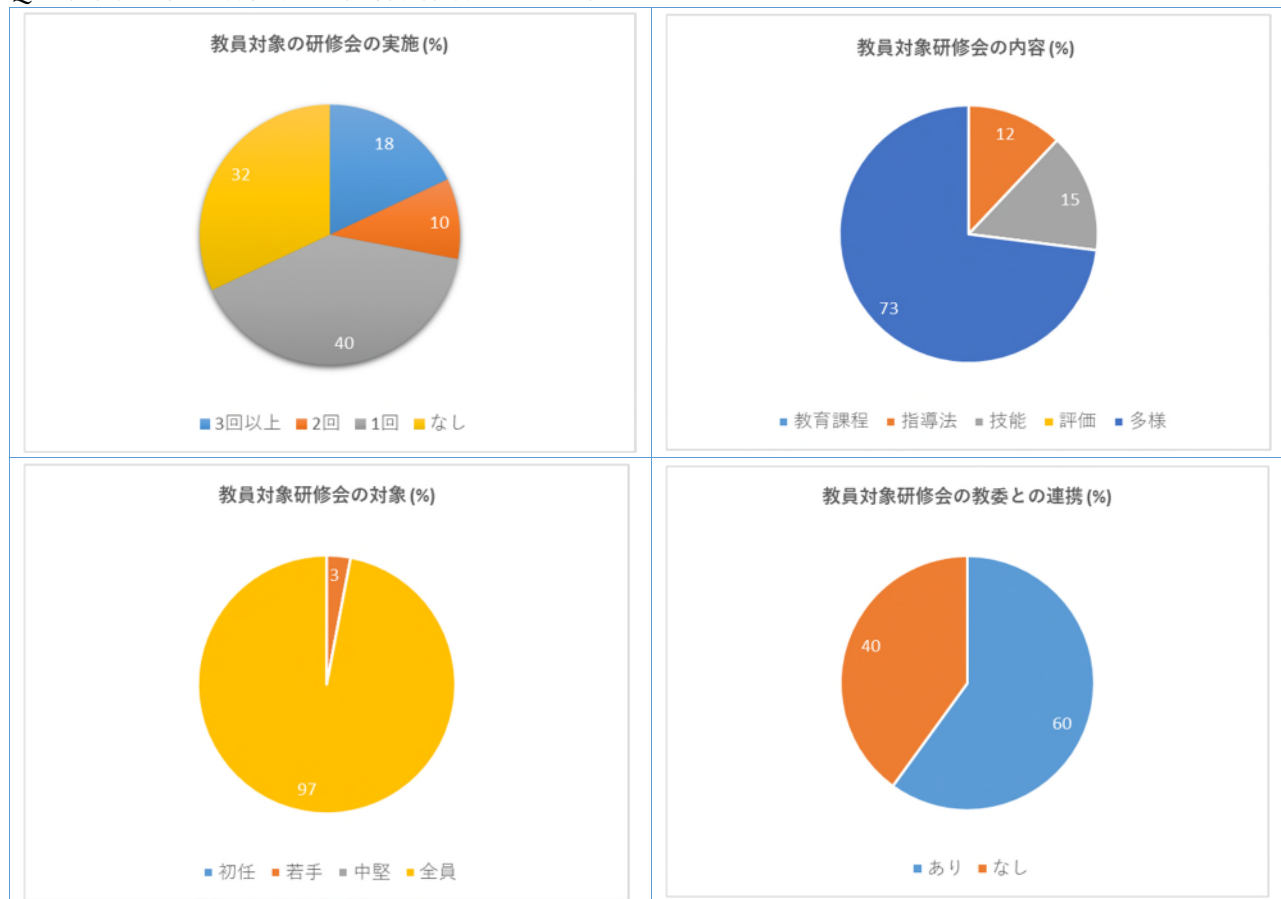
### 3 教員研修に関して

Q：教員対象の研修会：実施していますか

Q：教員対象の研修会の内容

Q：教員対象の研修会の対象

Q：教員対象の研修会の教育委員会との連携

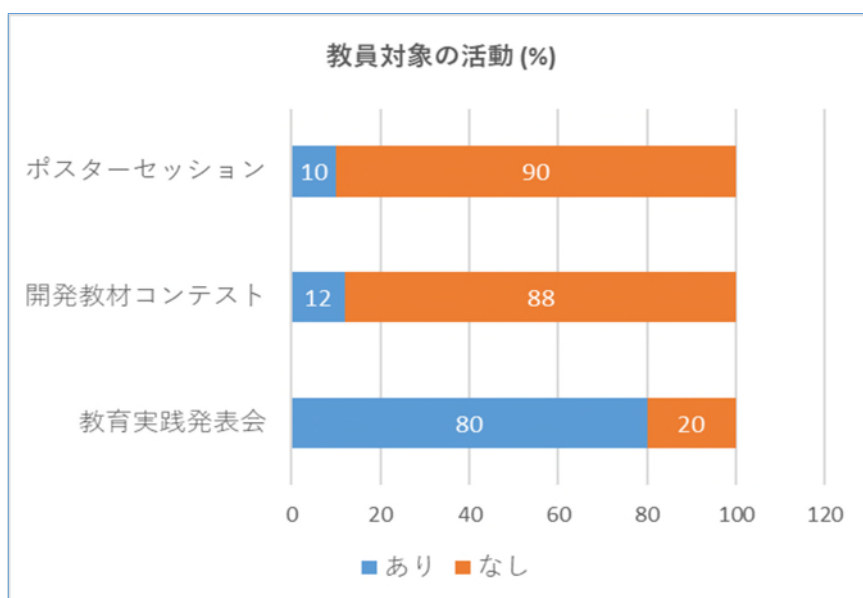


### 4 教員対象活動に関して

Q：教員対象の教育実践発表会の実施

Q：教員対象の開発教材コンテストの実施

Q：教員の交流を目的としたポスターセッションの実施



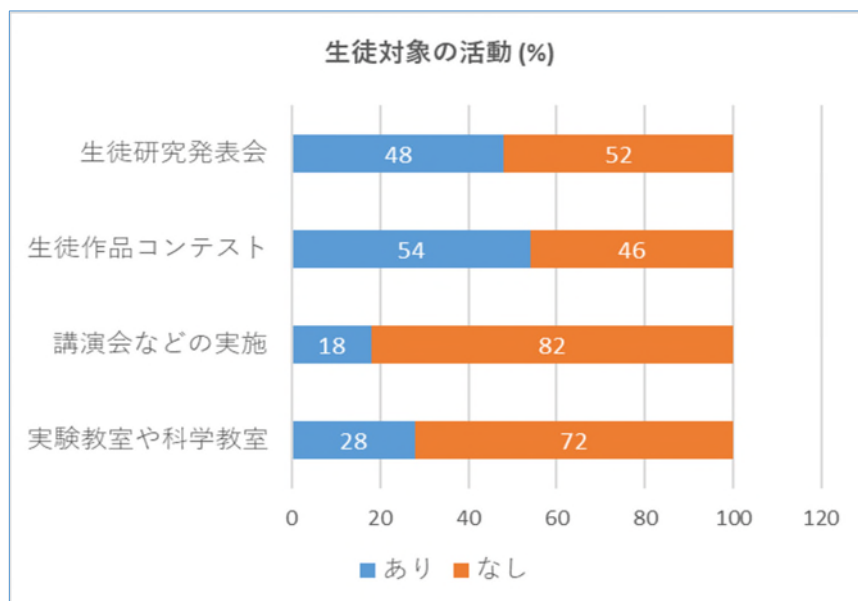
## 5 生徒対象活動に関して

Q：生徒の育成のための実験教室などの科学教室の実施

Q：生徒の育成のための講演会などの科学教室の実施

Q：生徒作品コンテストの開催

Q：生徒研究発表会の開催



## 6 自由記述：コロナ禍で今年度の活動はどのような影響を受けていますか

- ・福岡県小中高理科連絡協議会の開催(年 2 回程度)
- ・例年、教員の希望者が参加する研修会(実験観察)を数回程度実施している。本年度は中止。
- ・科学教室や生徒発表は北電じっけん室や青少年科学館、中文連と連携して実施している
- ・県理科研究発表会を群馬大学を会場にして小中高の連携で 68 回実施
- ・総会・研究発表大会においては、会場校より2本の研究授業を提供いただき、研修を深めている。
- ・実験観察カードとして、全理科教員に教材を紹介する

- ・毎年、15 支部の持ち回りで大会を開催している。(2 日間)
- ・年 1 回の研究発表協議会で気軽にシンポジウム(教員の自己開発教材の紹介の場)を設定している。
- ・研究発表会の原稿や研修会、年間の活動報告などをまとめた「大阪の理科教育」という紀要を発行している。
- ・国立科学博物館との連携事業
- ・各市町で研究会を実施
- ・理科教育充実のため、中 3 生を対象とした理科共通テストの実施、実践事例・開発教材事例集を年 1 回発行
- ・研究部(4部会)を中心に研究推進

## 7 自由記述：コロナ禍で今年度の活動はどのような影響を受けていますか

- ・研究発表会は、紙上提案等で実施している
- ・評議委員会を紙面議決とし、連絡などはメール・リモートで行っている。
- ・研究大会を中止するとともに、支部長会を文書で行った。
- ・感染拡大防止のために、役員会を中止したり、研究発表会の時間短縮・参加者縮小を行ったりした。
- ・研究会で年 2 回(4 月と 11 月)の学力調査を実施しているが、4 月の調査は学校ごとに実施の可否を判断し、11 月の調査は全学校一斉に中止とした。
- ・生徒の作品展、科学経験発表会が中止になった。
- ・科学作品展や研究発表を誌上発表に変更した。
- ・県内どの地区もほとんど活動ができておりません。

- ・授業研究会の中止、研究発表会の紙上発表へ変更、実験講習会の人数制限
- ・総会等を開催することができず、紙上(発表)にしている。
- ・研修会に参加できる人数、地域が狭まっている
- ・全て紙面開催
- ・総会・第 1 回理事会は開催せず、第 2 回の理事会については 8 月 27 日に Zoom で行いました。
- ・夏休みに開催予定であった、教員の実践発表会は中止としました。
- ・科学教育振興展覧会(自由研究等の展覧会)は県教委主催行事で、県教委の決定として実施しないとしたものの、読売新聞の日本学生科学賞の予選

をこの展覧会が兼ねており、学生科学賞については実施するというので、埼玉県理科教育研究会独自の科学コンクールを実施することとしました。展覧会を行わず、レポート形式の提出を求めて、地区審査、10月末に中央審査を行う予定です。

- ・2月に行う予定の児童生徒の研究発表会はなかなか難しい状況ですが、今後継続検討していきます。
- ・総会は中止とし、役員・幹事会のみを実施した。研究発表大会については誌上発表の形で実施をする予定である。
- ・県大会を中止とし、研究発表を紙面発表とした。
- ・役員会を行っているが、支部の理事会等は中止した。全体の総会などの研修も中止だが、若年研修会は行う予定。
- ・夏季休業中に予定していた県の研究会を中止にした。
- ・書面決議による総会の実施、科学作品展示会を審査、表彰のみに変更
- ・作品コンクール関係は、募集はするが展示会や表彰式は中止、審査結果の新聞発表は、依頼予定である。
- ・大会の中止
- ・全県対象の計画は中止
- ・10月までの会議、研究会、研修会の中止、3年に1度の県大会等の延期、会報発行の中止
- ・夏季研究大会を集会とせず、紙上発表に代える。
- ・県レベルでの研究会、授業公開等の中止(一部、オンライン会議)
- ・支部長会(都市代表)は縮小して実施。研究員総会、研究発表協議会は紙面発表。生徒研究発表会中

止。生徒科学作品展は審査のみで展示は中止。その他、各委員会の活動は縮小して可能な範囲での活動を継続。

- ・研修会や科学教室の開催が中止となっている。
- ・会議等の開催見合わせ(紙面決裁)、研究大会中止、作品展等の中止
- ・年1回開催する研究発表会を中止した。
- ・県理科発表会(小・中学校)中止。県研究会の取組よりも地区での活動が優先されているが、全体的に縮小傾向。
- ・毎年行っていました研究発表会を紙面発表に切り替えることになりました。
- ・各部、委員会の活動は制限されているが、できることから実施している。
- ・すべて中止、延期になっています
- ・今年度に予定されていた福島県中学校教育研究会の活動はすべて次年度に延期となりました。
- ・幹事会・理事会を中止 県理科大会は書面発表で実施
- ・郡市部長会は1回も開催できてなく、及び県理科研究大会が今年度は紙上発表となりました。
- ・ほとんど活動できていません。
- ・年1回の支部長会を書面開催とした。
- ・ほとんどの会が方法を変えて実施、縮小、中止など変更しています。
- ・ほとんどの会議や研修会が中止となっている。
- ・様々な取り組みが実施できていない
- ・中学校生徒自然科学研究発表会を例年のプレゼン形式から書面審査とした。

## 8 自由記述：全中理事務局へのご要望：問い合わせ

- ・Zoom 会議は負担感無く有効であった
- ・要望ではありませんが、質問項目の中にあつた「名簿」と「会報」についてです。名簿については、役員名簿を毎年作成しています。会報については、行事や委員会などを中心に1年間の活動状況などをまとめて「研究集録」として冊子を作っていましたが、昨年度からはホームページに載せて冊子は作らないこととしました。
- ・リモート理事会ご苦労様でした。
- ・今年度から加盟しました。分からないことが多々あると思いますので、ご助言をお願いします。

- ・要望ではありませんが、調査の補足です。教員対象の研修会は4年に1回実施していますが、選択肢がなかったので、年1回にしています。また、教員対象の教育実践発表会は、同じく4年に1回の県大会で実施しています。さらに、生徒の育成のための実験教室や講演会は、各支部で実施しており、県レベルでは実施していません。以上を補足します。
- ・授業研究会等の自粛